

会 議 録

会 議 名	令和５年度第１回小金井市芸術文化振興計画推進委員会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課		
開 催 日 時	令和５年７月１３日（木） １８時３０分～１９時３０分		
開 催 場 所	小金井市民会館Ａ会議室		
出 席 委 員	戸舘正史 委員長 田中真実 副委員長 福沢政雄 委員 中原和樹 委員 小林 勉 委員 水津由紀 委員 足立優司 委員（オンライン） 三浦香里 委員（オンライン） 西村徳行 委員（オンライン）		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	１ 小金井市 コミュニティ文化課長 中川 法子 コミュニティ文化課 津端 友佳理 コミュニティ文化課 武田 麗子 ２ 事業実施者 特定非営利活動法人アートフル・アクション		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	０人
会 議 次 第	１ 令和４年度事業報告 ２ テーマトーク ３ その他		
提 出 資 料	別紙のとおり		
１ 第２次小金井市芸術文化振興計画の位置づけ及び小金井市芸術文化振興計画推進委員会の役割の説明 事務局より説明 ・ 国の「芸術文化基本法」に基づき、計画と推進体制を整備している。 ・ 本市では「基本構想・前期基本計画（第５次）」にて「施策１７ 芸術文化の振興」を挙げており、総合計画と整合を図りつつ、第２次芸術文化振興計画（前期５年）を運用している。前期５年で取り組む項目は以下の３点となる。 ① 地域に開かれた芸術文化拠点の形成 ② 市民の芸術文化活動への参加機会の創出 ③ 多様な人が参加できる実践の場づくり ・ 委員会の役割は、計画の理念・目標を実現するための検討・提言をする。			
２ 令和４年度事業報告（アートフル・アクション） 令和４年度に実施した事業について、オブザーバーのアートフル・アクションより実施報告があった。			

(1) 事業内容の概要

- ・ ダンス保育園!!@くじら山
はけの森美術館の学芸員と共同企画
- ・ 0、1歳と保護者のための芸術文化体験連続講座
身体表現、音を使ったワークショップを6回開催
宮地楽器ホールを会場とし、乳幼児家庭の新規層にアプローチ
- ・ えいちゃんくらぶ（参加者の方はおおむね70歳以上）
5年目。映像制作、鑑賞、VR体験など
年度末に「えいちゃんふえす」を開催し、新規参加者が増加

(2) 成果

はけの森美術館との初の共同企画が実現し、連携できたこと。
乳幼児家庭という「これまで接点の薄かった層」との関係構築
えいちゃんくらぶで自主的活動・相互支援が生まれ、実践者化が進む。

(3) 課題

文化施設との持続的連携の基盤が未整備
年齢・属性を限定しない市民の主体的な参加のきっかけづくりの必要性
担い手育成の仕組みづくり
会場確保の難しさ（乳児向けの安全なスペース、高齢者の増加など）。

(4) 委員からの主な意見・議論

① 市内の文化活動との連携の必要性

- ・ アートフルの事業だけで文化振興は難しい。市内の多様な活動をつなぐ必要がある。

② 乳幼児事業の位置づけ

- ・ 「条例の重点対象（青少年、高齢者、障害者）に乳幼児は含まれないのでは」との指摘。
- ・ 小金井市芸術文化振興条例の理念は「すべての市民」が対象。地域社会への様々な影響、波及という観点から見ると、必ずしもこの条例あるいは計画に反する活動ではないという考え方もある。

3 テーマトーク（文化施設の連携）

- ・ 宮地楽器ホールの指定管理制度の制約
指定管理者は芸術活動を支援するというより、「自主事業」にプライオリティが高い。社会包摂的事業が弱くなる構造的問題。
- ・ はけの森美術館は立地・アクセスの弱さがあり、展示への継続的来館につながりにくい。

4 次回委員会

第2回推進員会を9月から10月頃開催予定